

じゃがいものうち通信 NO. 46 2006.2.17

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間136-6

Tel.Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:http://www.minc.ne.jp/npo-jaga 代表 松田 正

屋久島での障害者の生活

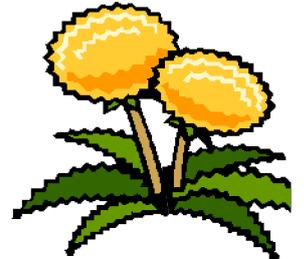
一口に障害者と言っても千差万別で“障害者”とひとくくりに出来るものではありませんが、一般就労の出来ない人として考えてみたい。生まれてきたときにたまたま障害を持っていたり、病気や事故等で障害者になった場合、屋久島でどういう形の生活が出来るのでしょうか。

現在の屋久島には、そのような人たちの生活の場である施設は何もなく、必要な人は、種子島や鹿児島に行くしか方法がありません。目的を持って島外の施設を利用している人を除けば、今、島在住の障害者は、親兄弟のサポートを受けて生活しているのが現状だと思います。そんな中、本人たちが気持ちの上での負担も感じず「生きてて良かった」と思える生活を送るためには、何が必要なんだろうといつも考えてしまいます。

それには障害があるために受ける不自由さは、社会の制度として補償する。具体的には、足が不自由で移動が困難な人には車いすを支給し、車いすで移動できる環境を整える。その上で社会的にも生きられる環境を整える、つまり就労の場や機会を整える必要があると思います。

一般就労が出来ない人には、社会参加の一つの形としての作業所や授産施設が必要です。それも、出来れば地域に開かれた形のものであれば最高です。障害者と施設職員だけという閉じられた場所じゃなく、常に一般の人とも関わりのもてる、「障害者自身が社会的に生きている」という実感のもてる環境が出来ればと思います。

今、徳洲会グループの社会福祉法人『愛心会』で開設予定されている授産施設が、そのような全国の手本となるような施設になることを願っています。



(松田)

どうなってるの？近頃の世相は！

耐震偽装、ライブドア、牛肉輸入、など様々な政治がらみの問題が浮上し、日常茶飯事となった殺人事件も拍車をかけ、暗いニュースがマスコミを賑わしている昨今です。私たち障害者にとっては、いやが上にも4月から自立支援法が施行されます。自立支援法という名前は聞こえがよいのですが、内容は大いに検討の余地あります。(先号のじゃがいも通信で詳しく要点を解説しています)負担増を余儀なくされて格差社会が是認され弱い者は益々不利な立場に追いやられているのが国のありようで、うすら寒く感じていた折に、東横インの一連のニュースが報じられ、「お前もか!」という感じに受けました。安価で使い勝手が良く鹿児島島へ行く度に利用していた者にとっては、いいホテルでしたが、障害者を軽視して利益を追求し事業を拡大している経営者の発言は何とも許せないものがあります。経済は一流、政治は三流、と言われ久しい日本ですが、一兆円以上も利益を上げているトヨタがリストラ、さらに派遣社員やパートで働く人々の身を削り、それを踏み台にして更に利益を追求している姿が、今の政治と二重写しに思えて来るのです。矢張り福祉予算に重点を置く政治が人をやさしくし、住み良い社会を作る一番の近道ではないかと思うのですが、皆さんはどうお考えですか？

(四宮)



♥ おめでたのお知らせ ♥



沼田宏、澄江さんに2月3日待望の二世誕生！ 女の子、そらみちゃん

金子英一さんと鈴木ゆかりさんが2月17日に結婚しました。



手をつなぐ育成会コーナー

「手をつなぐ育成会ってなんだろー？」 —そんな素朴な質問に答えて—

(育成会資料より)

手をつなぐ育成会とは、全国 - 九州 - 県 - 市町村の組織になっています。現在は47都道府県30万人を超える会員数です。この会を発足させたのは東京に住む3人のお母さんで、全国の仲間のお母さん達に『知的障害』のある我が子の幸せを求めて、手をつなぐ事を呼びかけたのが会の出来たきっかけです。

地域の方々に障害者を正しく理解してもらうためには、親の活動が地域の方々の理解と協力につながるのではないかと思います。これからは制度も変わり、以前の子どもを保護するというものから、子どもの自立と社会参加をはかるといったものとなります。親兄弟が真剣に話し合い、勉強して行く必要があるのではないのでしょうか。

親亡きあともこの子らが、普通の暮らしが出来るよう『一人は万人の為に、万人は一人の為に』『自分の子どもも大事、それ以上に仲間も大事』をモットーに親の会の和を広げていきたい。一人の力では何も出来ません。親の立場は決して捨てられません。

手をつなぐ育成会は、子どもたちの幸せの為に、親たちがしっかり手を取り合って心を許し合い、苦しい事でも悩んでる事でも、何でも話合える親の会です。



今、「屋久町手をつなぐ育成会」では

我が「屋久町手をつなぐ育成会」は、会員数21名、内在宅者12名、賛助会員2名の会です。親亡き後も子どもたちが幸せに暮らせる生活の場がこの屋久島の中に出来ればと声をあげ、訴え続けて来ました。「もう行政や福祉施策には頼ってはい間に合わない！親が自ら動かないと何も変わらない！」・・・と、昨年春より週に一回作業日を決め、様々な作業に取り組んで来ています。

将来、作業所であれ、通所授産施設であれ、更生施設であれ、日中の活動に必要な作業を探しておこう、きっと先で必要になるだろうと始めたのが『梅千代プロジェクト』。その内容は、千代さんの庭の梅の木が屋久島ではめずらしくたわわに実をつけました。それを梅干にして売ろうというのが作業の始まりで、名前のいわれです。そして「じゃがいものうち」のタンカンジュース作りや、じゃがいも掘り等に合流したり、椎茸栽培、木工作业、麦わらの織物、作業以外にも屋久町文化祭、福祉文化祭に出演、絵を描いたり文化的創作活動も楽しみな活動です。そして今無謀にも究極の地産地消、屋久島産小麦100%のうどん販売を目指しています。麦を育て粉を挽き麺を作り一杯のうどんにして食べて頂く、その一連の作業から生まれるものは、働く場があります。もちろん愛しい我が会の子どもたちの働く場ですが、それだけではなく、地域の方々を含んだ働く場です。つまり子どもたちだけでは生きていけないので多くの仲間達が必要なのです。生産した麦を販売しても市場経済価格の中では農業の肥料代にしかならず、製粉して販売すれば肥料代とトラクターやハーベスタなどの機械使用代まで、製麺して販売すれば農業代から製麺加工代まで出ます。そして一杯のうどんにして食べて頂くと、ようやく全ての経費と人件費とわずかですが利益が生まれて来る事が解りました。毎日屋久島にたくさん入ってきている食品の中の、「うどん」という一つの食材です。やる気があればもっとたくさんの物がこの屋久島で生産することが出来るのです。ということはここで私たちが子どもたちが暮らして行ける可能性が有るとい事です。まだまだ始まったばかり。「じゃがいものうち」の大きな協力を頂き、更に地域の方々の理解と力を受けるべく勉強をし、活動を広げ、深めて行きたいと思っています。

そこで今、毎週水曜日を活動日としております。多くの方々の手が必要です。現在週一回ですが、それを週二回、三回と増やして行きたいのです。親だけの力では足りません。

私たちの活動を理解され、手伝っていただける方を募集します。どうかよろしくお願い致します。

連絡先 自宅 0997-47-3032

携帯 090-7440-5388

「屋久町手をつなぐ育成会」会長 楯 篤雄

「安房小学校に行ってきたよ」の巻

以前、じゃがいもの植え付けを手伝って下さった、安房小学校の6年生のみなさんによる『卒業フェスタ』（2月8日）に「じゃがいものうちのみなさん、是非見に来て下さい。」と、声をかけていただきました。もちろん、私たちは大喜び！よし、私たちからも、小学校を卒業するみなさんへ、エ-ルを送ろうではないか、ということになり、『劇団じゃがいも』のメンバーでおじゃまして来ました。緊張のあまり（それとも武者震い？）全く落ち着きのない『劇団じゃがいも』の面々を6年生のみなさんは、「ようこそ！来てくれてありがとうございます。」の、あたたかい言葉と、手作りのクッキーでお出迎え。自然に席へエスコートして下さいました。プログラムが始まり、すてきな合唱や合奏に、ぐいぐい引き込まれてゆく私たち。『水戸黄門』のことなんかすっかり忘れて、夢心地。『12歳のメッセ-ジ』では、6年生のひとりひとりが、興味のあることや、やりたいことを研究し、ひとつの形にして発表するというもの。右にならえというものが一つもなく、個性とやる気がぎっしり詰まった発表でした。



そして、いよいよ『劇団じゃがいも』が卒業生へ、エ-ルを送る番です。Fちゃんが欠席だったため、突如、担任の木原先生に、かつらをかぶっていただき、悪代官と悪商人に追われる娘(?)役で出演していただきました。なかなかの「キャ～」ぶり。会場は大ウケ！あっぱれでしたよ！そして、最後は手話で（遊佐よしき君指導）会場のお父さん、お母さんも一緒に「もうすぐ卒業ですね、中学校に行っても頑張ってください」と、卒業生へ、エ-ルを送りました。6年生の感動の歌声とお礼の言葉で幕を閉じ、「北の国から流れたら、会場のみなさんは退場して下さい。」の、木原先生のお願いに反し、ちっとも帰ろうとしない『じゃがいも』の面々。ちかちゃんが「みんなと握手がしたい！」と言い、ちかちゃんだけでなく、浩二くん、のぶくん、きよみちゃん、のりオジ、それぞれが6年生と握手と言葉を交わし「ありがとう」の気持ちを伝えました。こうした関わりの積み重ねが「心のバリアフリー-」「みんなにやさしい社会」へつながると、あらためて感じました。安房小学校の6年生のみなさん、ご父兄のみなさん、木原先生。本当に、すてきな関わりと、すてきな時間をありがとうございました。

最後に、《鹿島浩二君の新年の誓い「自分が自分として生きていくことの自信を持つことができるように、今年もいろいろな事に挑戦したい。」》浩二君のやる気と、それを素直に表現する力を目の当たりにすると、いかに、私がちっぽけで（背じゃないよ！）すれた人かということがわかります。反省と感謝です。

（鈴木裕子）

喫茶コーナー



リサイクル品について

現在「じゃがいものうち」には多くの方がご好意で、衣類、バッグ、靴、スカーフ、食器などをくださいます。しかも、実用的な物から高級品まで多種多様です。お客さんは「こういうのが欲しかった。」とか「友達にあげるわ。」と喜んで買ってくださいます。必要とされ買って頂いた品々は、次の持ち主に活用される。喫茶のスタッフとして、そういった物と人とのサイクルのお手伝いができ嬉しく思っています。皆さんいつもご協力有難うございます。ここで、リサイクル品の受け入れと販売価格についてのルールをまとめておきます。

受け入れ いただく時は寄付という形です。衣類は 痛みのひどくない物 洗濯済みの物をお願いします。リサイクル品は特に大きな物でない限り喜んで頂きます。お断りすることはありません。

販売価格 衣類の基本価格は200円（子供服は100円）です。高級品でも300円までです。バッグ、靴は100円～500円です。気が向いたらのぞいてみてください。

さっそくですが、CDプレーヤーを「じゃがいものうち」に譲って頂けないでしょうか。喫茶に声をかけてください。

（K.M.）

ボランティア依頼

先日、大分の小林さんからボランティアの依頼がありました。

車いす利用の方で、3月14日(火)9時40分宮之浦港からレンタカーを利用しての島内観光が目的です。車の運転と、車いす介助の出来る方でボランティア可能な方連絡を下さい。

47-3588 (夜間 47-2091 松田)

会費納入のお願い

日増しに春の訪れが感じられるこの頃ですが、皆さん如何お過ごしですか、日頃から、当会の運営にご協力を頂き感謝しております。皆様の会費が貴重な財源になり、お陰様でいろいろな活動を展開する事が出来ました。一年間のご支援を感謝し引き続きご協力をお願い申し上げます。

つきましては、次年度の会費を、ボランティア保険の手続きの関係で3月15日までに振替用紙で御送り下さるか、直接「じゃがいものうち」へご持参下さいますよう重ねてお願い申し上げます。

行事参加へのお願い

「じゃがいものうち」で一番忙しい季節がやって来ました。農作業やタンカンジュース作り等の作業がめじろ押しです。ご多忙とは思いますが、小刻みの参加で結構ですので下記のスケジュールに合わせてご参加をお願いします。一人でも多く、一時間でも多くの手が必要ですので、猫の手になって下さいね。

障害者自立支援法勉強会

講師 県福祉事務所 中村俊晴氏
日時 2月19日(日)PM1時30分~
場所 屋久町総合センター1階大会議室

タンカンジュース作り

1回目 2月21日(火)~23日(木)
2回目 3月6日(月)~8日(水)
3回目 3月19日(日)~21日(火)
場所 屋久町麦生ポンタン館
時間 AM9時~PM4時
持ち物 お弁当持参 作業着は準備します。
長靴 (清潔な服装)

じゃがいも掘り

日時 2月27日(月)AM9時~PM4時
場所 尾之間、新里自動車下の畑
持ち物 お弁当 軍手 バケツ 畑仕事の服装
雨天順延(天候待ち)

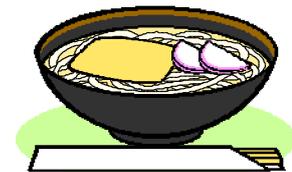
当日は安房小6年のみんなが応援にこられます。

ウコン、ガジュツ掘り

日時 3月5日(日) AM9時~PM4時
場所 尾之間、新里自動車下の畑
持ち物 お弁当 軍手 バケツ 畑仕事の服装
雨天順延(天候待ち) 今年も「ボランティアつわのは」の皆さんが応援にこられます。

行事報告

12月4日(日) 手打ちうどん作り
12月11日(日) ケーキ作り
12月18日(日) 手話教室・茶話会
12月22日(木) しゃくなげ未来館のクリスマス会へ参加
12月28日(水) 餅つき大会
1月4日(水) 新春茶話会



ご参加ありがとうございました。

感謝録

泉や倶楽部 大久保芙美子 後藤田百合美 峰平耕典 鈴木ゆかり 三柴仁恵 日高弘子 藤山順子
池亀樹音 家村光 中村盛安 H.S.ひまわり 星野京 鈴木裕子 おおた 樟の木陶房 佐藤まち子
ありがとうございました。 (順不同 敬称略)

編集後記

私が通信を手伝い始めて丸2年がたちました。読みやすさを心がけてきたつもりですが、まだまだ不備な点や誤字が多々あります。ごめんなさい。今年は特に注意していくつもりです。

季節の変わり目、気温の差が激しい時期です。健康に注意しましょうね。

(丸山)